

# いわいずみ 議会だより Iwaizumi

2015  
11.15  
No. 173

発行 岩手県岩泉町議会

ふるさと岩泉の  
**大家族**  
(関連記事 20頁)

**過去最高額を更新 26年度決算190億円を認定…2**

町の考えを問う (5 議員が一般質問) …10

視察レポート…16

ぴーちゃんねっとで議会を見よう…19

# 「再生期」の最終年度

## 9月定例会のあらまし

9月定例会は9月8日から18日までの11日間にわたり開かれました。一般質問では、5人の議員が活発な議論を展開しました。条例改正と補正予算、平成26年度決算については、2つの特別委員会を設けて集中審査を行いました。その結果、全会一致で原案のとおり可決・認定しました。



着々と進む小本地区の復旧（住宅建築が進む宅地造成地、奥が小本小・中学校）

### 平成26年度各会計の決算額

会計名		歳入	歳出	歳出の前年度比	
一	一般会計	159億9832万円	150億2190万円	0.2%	
特別会計	国民健康保険	事業勘定	15億42万円	14億8842万円	▲5.0%
		診療施設勘定	3669万円	3137万円	2.8%
	後期高齢者医療	1億945万円	1億903万円	10.1%	
	介護保険	事業勘定	14億4028万円	14億3758万円	2.7%
		サービス事業勘定	1201万円	1147万円	5.6%
	簡易水道	6億4926万円	6億3702万円	76.3%	
	観光事業	1億9121万円	1億8263万円	16.1%	
計	公共下水道事業	1億7134万円	1億6582万円	▲2.1%	
	大川財産区	578万円	516万円	▲2.3%	
	合計	201億1476万円	190億9040万円	1.6%	
	25年度決算（参考）	205億8854万円	187億8992万円	—	

平成26年度の決算額は、前年度と比較して3億48万円増えて過去最高の190億9040万円となりました。主な事業は次のとおりです。

- 漁港施設災害復旧事業 4億5002万円
- 簡易水道施設遠隔監視装置整備工事 1億5384万円
- 地域情報通信基盤整備事業 5億8310万円
- 小本地区複合施設整備事業 4億5645万円

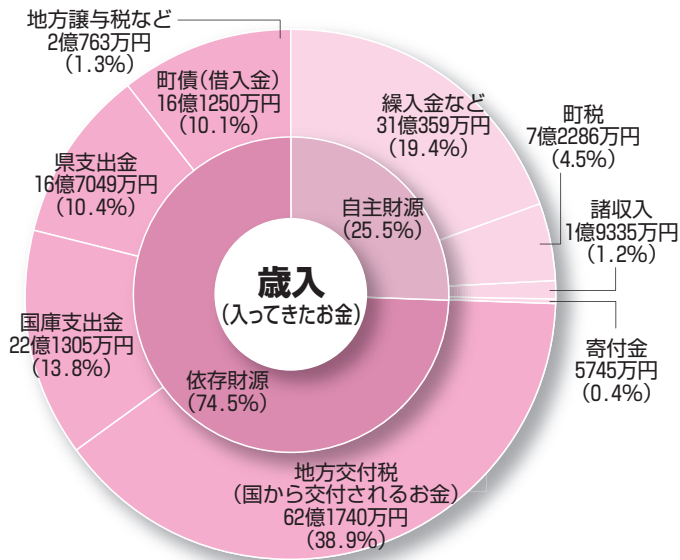
過去最高額を更新

# 26年度決算 認定

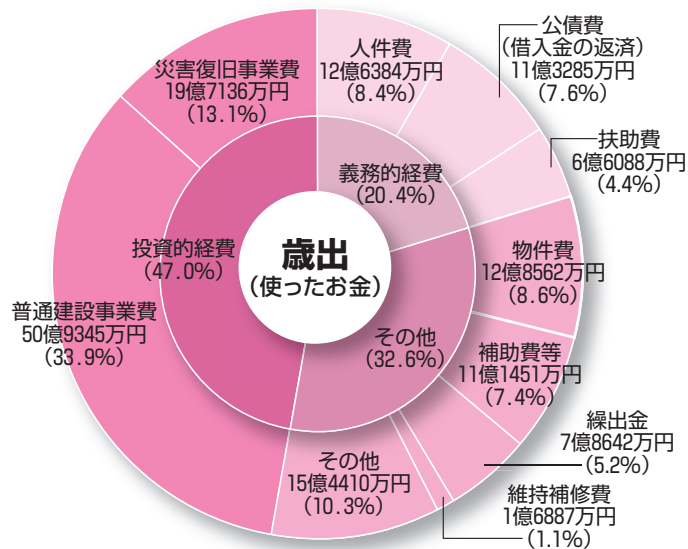
# 復興計画

## 一般会計決算の内訳

～震災復旧・復興費 37 億円を含んでいます～



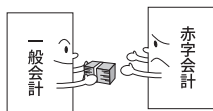
159 億 9832 万円



150 億 2190 万円

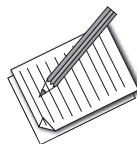
### 繰出金

ほかの会計などに移動するお金



### 物件費

旅費、消耗品など消費的性質の経費



### 扶助費

児童手当の支給や各種扶助のためのお金



本会議で決算審査報告をする佐々木良治代表監査委員

平成26年度決算は、一般会計で健全財政が維持されている。財政状況においては、前年度に比較して経常収支比率(一般財源に占める義務的経費などの支出割合)が、5.3ポイント上昇している。

限られた財源の中で、職員一人一人が常にコスト意識を持って施策を着実に推進し、住民福祉の増進に向けて、より一層の努力を強く望むものである。

### 監査委員の意見

コスト意識を持って  
施策の推進を

### 過去5年間の歳出決算額

年度	歳出決算額	22年度比
22	141億2750万円	—
23	154億2470万円	109.2%
24	179億3612万円	127.0%
25	187億8992万円	133.0%
26	190億9040万円	135.1%

### 町の借金と貯金の状況

【一般会計】

	総額 (22年度比較)	町民一人あたり (22年度比較)
借金 (地方債)	23億1661万円 (▲7億6710万円)	23万円 (▲5万円)
貯金 (基金)	72億5596万円 (27億2610万円)	71万円 (30万円)

※借金額は、借金に対する国の援助額を除いている  
※人口は、22年度末 11,080 人、27年度末 10,170 人で計算

決算審査の特別委員会（合砂丈司委員長）では、岩泉町震災復興計画「再生期」と新岩泉町まちづくり総合計画「前期基本計画」の最終年度で過去最高額となった決算を慎重に審査しました。委員会の質疑の中からいくつかを要約してお伝えします。

## 高齢者



高齢者が住みやすい町づくりを進めています

**問** 高齢者等住環境検討調査の結果を聞く。

**答** 小川地区の一人暮らしの高齢者を中心に、アンケートを実施した。調査結果に基づき小川地区に認知症グループホームを整備する計画を策定した。

**問** 小川地区以外は、どのように考えているのか。

**答** ほかの地区を対象にした調査は今のところ考えていない。

## 仮設住宅

**問** 仮設住宅の入居期限はいつまでか。期限後の対応はどうなるのか。

どんぐり苑では、冬の住環境が厳しい状況にある人が安心して過ごせるよう、居住部門を運営している。小川地区からの応募が多かったため、今回の調査は小川地区に限定した。

**問** 一人暮らしの安否確認のため、集合住宅方式を採用し1カ所対応してはどうか。

**答** 学校統合により空き校舎があることで、需要があった場合は考えていく。

**答** 入居期限は平成28年5月までとなっている。入居期限満了後の住居は、12人が未定である。公営住宅や民間アパートへの移転を進めていく。

## 地域振興

**問** 各支所の地域課題とこれからの可能性、今後のあるべき姿について考えを問う。

**答** 小川地区 人口減に加え、高齢者が増加しており、賑わいへの取り組みが不可欠である。地域の実情を把握し、事業を展開していく。

**大川地区** 道路改良の促進と若者の定着が課題である。豊富な自然資源を観光に結び付けていきたい。

**小本地区** 震災復興の進展に伴う行政区の再編が必要である。住民と意見交換を行い進めていきたい。

**安家地区** 若い人が地元に残ってもらえる対策が必要である。産直施設を核として振興に努めたい。

**有芸地区** 通院への道路整備が急務である。転入してくる若者向けに、住宅の確保が必要だと感じている。



各地区でイベントが開催され、地域振興がはかられています（有芸地区収穫感謝まつり）

## 産業振興

### 農業

**問** 後継者不足の中で、集落営農に取り組みたいと思うがどうか。

**答** 若い人が専業農家で生活できる仕組みは大事であり、意見を聞いて進めていく。

**問** 遊休地の解消のため、モデルケースを作った助成をはかるべきではないか。

**答** 経営体が成り立つよう核となる人材を育てることを含め支援していく。



親水空間として整備が望まれる龍泉洞の上流区域

**問** 畑ワサビは、生産拡大する方向にあるか。

**答** 生産量日本一の地位にあり、これを崩さないように進めていく。

## 観光

**問** 龍泉洞の上流水域に川に親しむ環境を整備してはどうか。

**答** 親水区域の空間として整備していく。

**問** 龍泉新洞科学館改修工事の基本設計の内容は。

**答** 個人的な科学館を考えている。町や龍泉洞の歴史がわかるものにした。

## 食肉処理

**問** 宮古広域行政組合で運営している食肉処理センター施設の撤去に際して、死亡牛を保管する保冷库は、どうなるのか。

**答** 保冷库を管理運営している宮古地方農業振興協議会と相談しながら、農家が困らないように対応する。



**問** GO!GO!5皿運動に取り組んでから町民の野菜摂取量は増えたか。

**GO!GO!5皿運動とは**  
1日に5皿の野菜料理を食べようという運動のこと。

野菜には、体内の余分な塩分を外に出す成分が含まれていることから、高血圧予防、脳卒中予防のために推進している。

**答** 平成24年度と平成26年度を比べると、ほぼ変わりがなく平均4皿の状態である。健康特区では、3皿

が4皿になった人がいた。健康特区を続けて、町民の野菜摂取量を増やしていきたい。

**問** 食と合わせて運動も大切である。血圧測定とパークゴルフを組み合わせて認知症予防したい。

**答** NPOばあとなあしながら、運動による健康づくり事業を展開している。運動するところに出向いて、予防活動を進めたい。



パークゴルフで健康づくりを！  
(ふれあいらんど岩泉)

## 奥岩泉トンネル

**問** 町道奥岩泉線トンネルの点検調査結果を示せ。

**答** 特殊な機械でトンネル内を詳細に調査した。冬期間は、漏れた水が氷柱のように凍るが、トンネルそのものの傷みはひどくはないと判断された。トンネルを全面的に覆い、流れてきた水を側溝で受け、凍らないような工法で、今後、整備する。

## いじめ問題

**問** 県央地区のいじめ問題は、今も尾を引いている。

**答** 本町で、いじめの事例はないか。

**答** 昨年3月にアンケートを行ったところ、小学校で3件、中学校で3件と報告があった。

その後、解消とみなされるものが3件、継続支援のものが3件となっている。

**問** いじめの定義はあ

**答** いじめ防止対策推進法で「心理的または物理的な行為によって、児童生徒が苦痛な行為を受けていること」と定義されている。

## 図書館整備事業 3億8692万円



1年間の貸出冊数が約1万冊、貸出者数が2852人増えました

## 利用しやすい図書館



やえがし こ  
八重樫みき子さん  
(岩泉・33歳)

青森県から岩泉町に嫁いで9年になり、7歳と4歳と0歳の子どもがいます。

古い図書館の時は、子どもが小さかったこともあるとは思いますが、なぜか図書館には行きませんでした。

新しい大きな図書館は、近所ですし、子どものスペースもあるので、頻繁に足を運んでいます。本にも興味が湧いてきました。

## 岩泉球場電光掲示板 更新工事

5417万円



見やすくなった電光掲示板(岩泉球場)

## いわて国体の成功を



くまがい つねゆき  
熊谷 凡之さん  
(岩泉・56歳)

息子が野球をしているので、岩泉球場には良く行きます。

これまでは、攻守が決まってから、掲示板まで行ってチーム名の板を差し込んでいましたが、新しくなり便利になりました。また、ボールカウントの表示が今風になりました。審判員も喜んでいてと思います。

いわて国体を成功させなければとの思いが強くなっています。

## 岩泉中学校校舎 大規模改造工事 2億1277万円



壁や床が新しくなって、明るい校舎になりました(岩泉中学校)

## 学習意欲が向上



かとう なお  
加藤 菜生さん  
(岩泉・15歳)

一番良かったのは、女子トイレがすべてウォシュレット付きの洋式トイレになったことです。

他には、教室やトイレの床が以前は茶色だったのですが、とても明るくなり、学習へのモチベーションが高くなりました。

これからも一生懸命学習に励みたいと思いますし、きれいな校舎を維持するよう心掛けたいと思います。



## 質疑のその後

# どうなりました...あの提言

議会だよりでは、定例会で行われた質疑の要旨を掲載しています。議員の行う提言などは、町政にどう反映されているのでしょうか。これまでの質疑の中から一部をピックアップし、その後の経過について追跡してみました。

### ◆平成 25 年 9 月定例会

#### 質問

これまでの子育て施策に加え、子育て支援住宅や雇用の受け皿づくりが必要である。若い世代が住んでみたい、暮らしたいというような環境整備に取り組むべきと思うがどうか。



#### 答弁

25 年度に策定する「子育て支援マスタープラン」に子育て支援住宅を盛り込むよう検討する。

## 結婚記念品支給事業

結婚のお祝いとして1組当たり龍ちゃん商品券10万円分を贈る事業を26年度に創設。26年度は25組が記念品を受け取りました。



記念品を手にする桜木さんご夫妻

## 子育て支援住宅事業

「子育て支援住宅」12戸を岩泉小学校付近に28年度に建築する予定です。

また、岩泉中学校付近の「子育て支援用住宅地分譲地」6区画について、27年度に希望者を募集する予定です。



元気いっぱいの子どもの笑顔があふれる町づくりを目指します  
(岩泉地区町民運動会)

# マイナンバー関連条例に

## 議論が白熱



マイナンバーとは

日本国内に住所がある人全員に割り当てられる12桁の番号のこと。

平成28年1月から税などの行政手続きで利用が始まります。本町分の個人番号の通知カードは、11月2日ごろから11月14日ごろに発送されます。

### 住民・事業所への周知は

説明会を予定している

**問** 町民はどのように個人番号の通知カードを管理し、取り扱いをどうすれば良いか。

**答** 町の10月1日号広報で4ページの特集を組んでいる。10月には、各支所で住民と事業主に対して説明会を行う予定としている。

**問** 年金問題のこともあり、個人情報の漏えいが危惧されるが大丈夫か。

**答** インターネットと完全に分離している

るのでインターネット上からの個人情報の漏えいはない。

また、一元管理をできない仕組みになっているので、辛くなる式な個人情報の漏えいの心配はない。

なお、罰則規定は、個人情報の保護に関する法律より強化されている。

**問** 民間事業者の負担は。

**答** 年末調整に伴う法定調書の作成や雇

用保険、社会保険等の手続きで個人番号が必要になる。

このため、従業員から個人番号の情報を提出してもらうなどの業務量が増える。

**問** システム導入費用と財源を示せ。

**答** 導入コストはおよそ4千万円で、ランニングコストが1千万円くらいになる。財源は、総務省と厚生労働省の補助金で全て補てんされる。



赤ちゃんから高齢者まで一人一人に12桁の番号が割り当てられて、世帯ごとに個人番号の通知カードが郵送されます

条例補正予算審査特別委員会（小成茂委員長）では、条例に関する4議案と5つの会計の補正予算を審査し、付託された議案はすべて可決と決定しました。ここでは、委員会の質疑の中からいくつかを要約してお伝えします。



## 財源確保に今後懸念は 大きい声を上げていく

歳入

**問**

腰廻地区の造成地  
法面等工事と配水  
管布設等工事で1億1  
580万円のうち97  
80万円が一般財源に  
なっているが、震災関  
連の交付税や基金で対  
応できないか。

**答**

復興交付金の対象  
にならない部分があ  
り、特別交付税の要  
望をしている。

**問**

昨今の国の状況を  
見ると、東京オリ  
ンピック等に予算が集  
中し、地方への交付金、

**答**

補助金が厳しくなっ  
ているように思うが認識  
はどうか。  
交付税なくして地  
方の存続はないと

思っている。よって、  
財源確保のためには、  
基本的に大きい声を上  
げていくしかないと思  
えている。

集会施設

100万円の根拠は  
60坪の舗装を想定

**問**

集会施設の敷地の  
バリアフリー化を  
行う協働のまちづくり  
交付金は、19施設分の  
予算とのことだが、町  
内の全施設分か。

**答**

また、100万円を  
上限にしている根拠は。  
町内には73の集会  
施設があり、事業  
は3カ年で行う予定。  
舗装道路から入口まで

**問**

面積で規定するの  
ではなく、高齢者  
の転倒防止という観点  
から規定するべきでは  
ないか。  
面積で規定するの  
ではなく、高齢者  
の転倒防止という観点  
から規定するべきでは  
ないか。

**答**

手押し車の人が増  
えていることと除  
雪を考えるとこの面積で  
足りると判断した。

JR

岩泉線の鉄道橋の撤去を  
頻度の高い順に対応する



車の通行が困難な状態の鉄道橋(二升石地区)

**問**

浅内駅から岩泉駅  
間のJR岩泉線鉄  
道用地等は町に無償譲  
渡されることとなつて  
いた。

**問**

尼額、二升石等の  
山林所有者の山に  
入る道路が、廃線に  
なったJR岩泉線の鉄  
道橋で狭くなつてお  
り、重機やトラックが  
通行できない。早急に  
不便を解消できないか。

**答**

現在の状況と今後の  
活用について聞く。  
JRから移管され  
て岩泉町への所有  
権移転登記が完了した。  
関係課等の意見を聞  
きながら活用の有無に  
ついて検討を進めたい。

**答**

利用者の要望を確  
認して、頻度の高  
い順に進めていく予定  
である。  
なお、1基を撤去す  
る費用は800万円く  
らいと聞いている。

### 9月補正予算の状況

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	4億240万円	148億5750万円
特別会計	36万円	15億1267万円
介護保険(事業勘定)		
簡易水道	▲1626万円	8億2594万円
観光事業	371万円	2億1271万円
公共下水道事業	181万円	1億6991万円

### 補正予算の主な内容

- ◇岩泉球場環境整備工事費 9080万円  
岩泉球場の大規模改修と球場周辺の駐車場等の整備を行います。
- ◇農業体験交流施設建替等工事費 1858万円  
水堀地区(有芸)にある農業体験交流施設の建替と地盤改良等を行います。
- ◇ベビーシッター講座実施委託料 67万円  
待機児童への対応策として、ベビーシッターを行う人が専門的な知識を取得するために講座を行います。

# ポロシャツで議会を開会！ 希望郷いわて国体のPRをはかり 機運を高める



希望郷 いわて国体

議会では、来年開催される「第71回国民体育大会」希望郷いわて国体の成功を願い、9月8日に議員と町職員が国体PRポロシャツを着用して本会議に臨みました。

軟式野球競技36試合のうち5試合が、岩泉球場において来年の10月2、3日に行われる予定です。



## 5人の議員が発言

～質問内容～

地方創生対策課の新設を  
定住化促進に住宅整備を

三田地 和彦 11p

三セクによる雇用創出は  
後期まちづくり計画を聞く

三田地 久志 12p

商店街の活性化対策は  
高齢者の生きがいづくりを

八重樫 龍介 13p

官民協働の人材育成を  
観光団体の一本化を

坂本 昇 14p

介護保険利用者への支援策は  
頸動脈超音波検査の導入を

林崎 竟次郎 15p

## 一般質問

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問をただすこと、あるいは報告や説明を求めたことを言います。また、議員が主義、主張を述べ提案し論戦します。結果として「現行の政策変更」や「新規政策を採用」させるなどの効果があります。

内容を要約して登壇順（質問順）にお知らせします。

なお、質疑全文を記録した会議録は、12月下旬ごろから町立図書館または役場各支所図書室で閲覧可能となる予定です。



三田地 和彦 議員

# 地方創生対策課の新設を

## 組織の再編も視野に対策

伊達町長

**問** 地方創生戦略について、国の方針と併せ、人口減少対策を喫緊の課題として取り組んでいく必要がある。まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、総合戦略）を確実に実現していくためには、新たに地方創生事業対策課を設けるべきと考えるがどうか。

**町長** 人口の現状分析・将来推計を行った上で、岩泉町人口ビジョンの策定と、その分析結果に基づく岩泉町版総合戦略の策定を国の施策と呼応して進めている。

岩泉町版総合戦略の基本目標は、雇用の創出、転入の促進、結婚・出産・子育て支援、地域づくりの4点である。

岩泉町版総合戦略の実現のために、個別計画のチェックや改善に対応する担当部署の設置を検討する。

また、新たな事業計画に対応する部署等の設置の必要性、そして、現行の組織における事務分担の見直し等、組織の再編も視野に入れ、対策を講じていく。

### 定住化促進に住宅整備を

### 強力に取りすすめていく

**問** 本町で頑張って仕事をしている人、Uターン・Iターンを考えている人の住居を確保し、定住化を促進するべきである。また、結婚や子育てのために住宅環境を整えて、定住化につながるような新たな施策が必要と考えるがどうか。

**町長** 住宅の確保対策は、雇用の場の確保と同様に重要なポイント

であると捉えている。今年度は、子育て支

援宅地を分譲する見込みとなっている。

また、空き家の改修支援等について5カ年でおおよそ100戸程

度の住宅対策計画を検討している。

定住化対策に伴う住宅については、さまざまな施策との連携をは

かりながら、今まで以上に強力に取り進めていく。



地域創生に不可欠である地域直結の産直施設（安家地区）

**問** 定住化には雇用の場の創出が不可欠であり、そのためには第三セクター（以下、三セク）などによる経済対策が最重要課題と考える。

三セクのホールディングス化（持株会社化。以下、HD化）の方向性が示されてから時間が経過したが、現在の進捗状況と今後の見通しはどうか。

町が三セクに期待する経済効果と雇用の拡大について聞く。

**町長** 三セク4社（※）

のHD化については、国と県が定める補助金、地方債対象事業の要綱等の解釈における見解の相違について、関係機

関と協議を重ねてきた。

おおむね本町の意向に沿った形で進み、条件が整えばHD化できるところまで進んでいる。

新たな事業を行うこ

とで雇用を拡大し、最終的には、グループ全体でその雇用と売り上げを現状の3倍程度にまで押し上げたい。

## 三田地久志 議員

# 三セクによる雇用創出は

## 現状の売り上げと雇用を3倍に

### 後期まちづくり計画を聞く

### 伊達町長

### 戦略的に事業展開をはかる

**問** 復興事業と地方創生事業並びに新岩泉町まちづくり総合計画後期基本計画（以下、まちづくり後期計画等）に基づく事業の推進体制を具体的に示せ。  
それぞれ独立して実施するのではなく一体となって事業を展開しなければ、効果は相乗しないと思う。

**町長** まちづくり後期

計画等は、スピード感を持って、現在の行政

組織をフル活用し、取

り組んでいる。各事業を実施する段階で内容

を精査しながら効果的

な事業展開がはかられるよう、事業の組み立

てを戦略的に進める。



ホールディングス化によってさらなる飛躍が期待されます（道の駅いわいずみ）

（※）（株）岩泉総合観光、（株）岩泉産業開発、（株）岩泉きのこ産業、岩泉乳業（株）



八重樫 龍介 議員

# 商店街の 活性化対策は

## 積極的に支援していく

伊達町長

**問** 昨今の急激な人口減少と大型店等の進出により、各地区の商店街は閑散とした状況になっている。そのような中、うれいら商店街ではこれまでの小売とは別に、交流人口をターゲットとした動きがある。また、非公開であるが、明治38年建築と言われる旧家や老舗など有望な資源がある。商店街の活性化は、各地区についても必要であるが、まずは町の中心部で活性化を進め、その上で各地区にもつなげていく必要があると思うがどうか。

**町長** 大型店舗の進出、経営者の高齢化などから店舗数の減少と後継者不足が生じ、商業者にとって深刻な状況が続いている。

このような中、町では個店経営力アップ応援事業（個店が講師からアドバイスを受ける事業）を平成26年度から始めた。今年度は、

空き店舗活用事業費補助金（空き店舗の改修費用の助成）を創設し活性化対策を強化している。また、第2弾のプレミアム付き龍ちゃん商品券が、年末年始に向けて発行される。

引き続き創意工夫を凝らした取り組みに対し積極的に支援していく。

### 高齢者の生きがいづくりを

### ボランティアの募集を検討

**問** 働く意欲のある元気な高齢者の皆さんに、こども園や保育園のサポート役を依頼する考えはないか。

**町長** 全国的に核家族化が進む中で、こども園や保育園で、高齢者にサポート役を依頼することは有意義な取り組みであり、検討すべ

き提言と受け止めていく。これらのことから、保護者の園に対するニーズを捉え、地域の高齢者のボランティア

を募集するなど積極的に検討し、高齢者の生きがいづくりを推進していく。



昭和の賑わいを取り戻したいうれいら商店街

**問** 多様な職種・職域において、行政と会社側で研修費の負担を行い、人材確保をはかるべきと思う。官民協働による人材の育成・確保・活用に取り組む考えはないか。また、地元に残りたい卒業生、地元の卒業生等を雇用したい企業等のニーズに沿った支援を行うことが、定住化の促進に向けても有効と思うがどうか。

**町長** 各企業では、自ら研修等を実施し、会社の業績に反映させている場合もある。本町では、人材育成の支援の一つとして、今年度から奨学金制度の内容を充実させた。この利用状況を注視しながら、町内企業のニーズを踏まえ、人材の育成・確保に有効な支援策について検証し、対応を考えていく。

## 坂本昇議員

# 官民協働の人材育成を

## 企業ニーズを踏まえ対応

### 伊達町長

### 観光団体の一本化を

### 統括した組織が理想

**問** 龍泉洞等の観光振興は行政や岩泉町観光協会で、ジオパーク（※）の推進は岩泉町三陸ジオパーク推進協議会で、観光案内は岩泉町商工会に所属する岩泉観光ガイド協会が行っている。このように、担当事務を受け持つ団体が分かれているため、関係者の戸惑いが多く、効率的な連携がかりづらい。観光事業関係団体の一本化を進めて総合的に観光推進をはかるべきと考えるがどうか。

**町長** 観光事業の関係団体は、その設立目的に即して活動を行い、会員構成や組織の設立目的などは、それぞれ異なっている。組織体制が理想とも思われることから、関係団体と組織の再編・統合等について、検討していく。

■そのほかの質問  
一般質問の答弁後の取り組みについて



官民協働での人材育成の推進を！（自動車修理工場）

（※）貴重な地質遺産を含んだ自然の公園



林崎 竟次郎 議員

# 介護保険利用者への 支援策は

## 訪問入浴介護などで負担軽減

伊達町長

**問** 介護保険料を27年度から年8400円値上げして7万8000円とした。介護保険が始まった当初、月2000円台だった介護保険料は、今や5900円となった。4月から要支援1、2の訪問・通所介護の保険給付外し、特養の入所要件を要介護3以上に、なども実行されている。介護の質を支える介護報酬も引き下げられ、8月からは、新たな利用者負担（※）が始まった。そこで、介護保険利用者に町独自で支援している事業や計画している施策を聞く。

**町長** 現在の介護保険料は、今後の3年間の本町介護サービス費用を賄うために必要な金額を算定し、月額で5900円とした。本町の経済状況等をみると、被保険者には重い負担となっていると認識している。利用者負担の町独自

の軽減として今年度から、訪問入浴介護等利用者負担軽減事業を行っている。来年度からは認知症対応型共同生活介護事業所の家賃等軽減事業を行う予定である。事業者と協議しながら、町として必要な支援を行う。

### 頸動脈超音波検査の導入を

### 総合的に勘案して検討する

**問** 長野県高山村では、特定健診等の結果から対象者を抽出して、頸動脈超音波検査を行っている。これは、脳梗塞・虚血性心疾患のリスクがある人へ早期に保健指導を実施することが目的である。脳卒中死亡率ワースト1位からの脱却のため、本町でも同様の取り組みを実施してはどうか。

**町長** 健診実施後に要  
注意レベルにある人には、訪問して生活習慣改善指導を行っている。  
さらに、高血圧予防

のための適塩運動として1日に5皿の野菜料理を食べようという運動を推奨している。  
頸動脈超音波検査に

については、集団検診での実施の適否など総合的に勘案しながら検討していく。

**そのほかの質問**  
■安全法制法案に対する町長の考えは  
■国保税の多子減免制度の導入について



デイサービス施設で昼食を取っている利用者の皆さん

(※) 一定の所得がある人（合計所得が160万円以上の1人世帯の人など）は、利用者負担が1割から2割になった

# 健康長寿の長野県を視察

## ～まもる健康からつくる健康へ～

総務常任委員会（坂本昇委員長）では、脳卒中死亡率ワースト1位からの脱却をはかるための健康づくりの取り組み、子育て支援策、定住化対策をテーマに長野県の4市町村を視察しました。

8月19日から21日までの3日間、担当者から説明を受け、本町の施策にどう生かすか学びました。

佐久穂町では、「健康はかけがえのない財産」のキャッチフレーズのもと、行政と医療機関が一体となって健康推進をはかっていました。

全国的に健診に関心があまりなかった昭和の時代から、医師の考へで健診の受診勧奨、保健推進委員の設置等先駆けて行っていました。

……所感……  
住民の健康関心度が高く、本町でも住民が積極的に健診を受診す

るような意識改革の取り組みの必要性を感じました。

〔報告 小成 茂〕

高山村では、「アンチエイジング（加齢に逆らう）の里」を目指して、乳幼児期から健康長寿の取り組みを行っていました。

血糖値が高い人の食生活を分析し、改善するように保健指導を行ったところ、5年後

には、1日あたりの塩分摂取量を5グラム減少することができたそうです。

……所感……

頸動脈超音波検査を二次健診として行っていました。この検査結果に基づき、脳梗塞等のリスクがある人へ早期に保健指導ができるので、本町でも取り入れるべきだと感じました。

〔報告 林崎寛次郎〕

### 子育て支援

岡谷市では、平成26年度に第三次児童育成計画を策定し、住民満足度を高めるために161の事業を推進していました。

平成15年には子育て支援館「こどものくに」を開館。0歳から3歳までの子どもと家族が利用でき、子育ての寄り所となっていました。

……所感……

ボランティアサポーターとして、市内の保育施設におじいちゃん先生を派遣するユニークな施策があり、本町でも見習うべきと感じました。

〔報告 八重樫龍介〕

### 定住化対策

北相木村では、村単独の手厚い定住化促進施策を講じていました。

土地・家屋の取得や建設・改修に対する補助、空き家人居者への家賃補助を行っていました。

山村留学にも力を注ぎ、受入農家には1日当たり3800円の補助を行い、村内全児童の約半数に及ぶ子どもを受け入れていました。

……所感……

空き家118戸を対象にアンケート調査を実施し、活用を促進していました。この取り組みは本町でも即実践すべきです。

〔報告 坂本 昇〕



健康体操を交えて説明を受ける総務常任委員



# 町内の観光・産業・復興状況を点検

産業常任委員会（野館泰喜委員長）では、復旧復興・観光・産業の実態について、町内3カ所の視察を8月7日に行いました。

モシ竜口マンクルーズは、開洋丸に乗船し、各入江や大震災津波の跡などの説明を受けながら、45分間の行程を堪能しました。

岩泉乳業株式会社では、山下社長の案内で第3工場を見学しました。

大石岩泉土木センター所長との懇談では、復旧復興事業の進行状況と平成27年度の事業概要について説明を受け、その後意見交換を行いました。

……所感……  
ロマンクルーズは、



モシ竜口マンクルーズを体験する産業常任委員

乗船場所やエンジン音の中でのガイドの音量等改善を行い、より充実したサービスに期待します。

岩泉乳業株式会社の第3工場は、衛生面と作業員の動線に配慮された素

晴らしい施設でした。

復興関係では、押角トンネルの平成32年度開通の予定など、あらためて岩泉土木センターの重要性を認識しました。

〔報告 野館泰喜〕

## 議会報 トップレベルの編集を学ぶ

広報広聴常任委員会（合砂丈司委員長）では、7月22、23日に議会だよりの編集について、全国コンクールで常に上位をキープしている2町の視察を行いました。

山形県庄内町議会では、編集現場の詳しい実態の説明や本町議会だよりの講評を受けました。その他、議会活動についての意見交換では、徹底した情報開示の必要性を強調していました。

宮城県利府町議会では、広報活動について丁寧な説明を受けました。楽天イーグルスとの結びつきを意識した編集作業は、事務局が約7割を担当して議員の負担軽減がされてい



平成26年度町村議会広報全国コンクールで第5位に入賞した庄内町議会で説明を受ける広報広聴常任委員

……所感……  
この研修で実感したのは議員の意識の高さです。定例会後に行う反省会では、議員同士が問題点を指摘し合うことが日常になっていく点など学ぶべきことが多々ありました。

〔報告 三田地久志〕

# ひとまひとインタビュー

9月定例会の傍聴者数はのべ13人でした。傍聴された方の中から、田野畑村議会議員の上村明美さんに傍聴した感想などをインタビューしました。



かみやま あけみ  
上山 明美さん  
(田野畑村・56歳)

## 国体開催地をPRする姿に感心

―傍聴のきっかけは  
上山 今年、田野畑村の議員に就任したので、一般質問を勉強するため来ました。  
―傍聴された感想はどうでしたか

上山 ポロシャツ姿でラフなスタイルだと感じましたが、国体PRのためと聞いて、議員自らが活動していることに感心しました。

議員の皆さんの一般質問を目の当たりにして、討論のやり方など参考になりました。

また、私の村も傍聴する人が聞きやすいように配慮し、開かれた議会の環境づくりが必要だと感じました。

―議員に対する要望がありますか。

上山 質問の本题に行くまでの前置きが長く感じました。もっと端的な質問にして、簡潔な答弁になると聞きやすいと思います。

―議会や町政に対する要望などはありますか。

上山 今回のポロシャツ議会を参考に、紫根染めのネクタイを着用して議会に出席するなど、岩泉町の豊富な特産品をPRできる議会を心掛けたら素晴らしいと思います。

## 第3回臨時会

# 原発事故の賠償金 約8千万円で和解

第3回臨時会は、7月28日に開かれました。

この臨時会では、損害賠償請求和解案、平成27年度一般会計補正予算案、工事請負契約締結案など10議案が提出され、全会一致で原

案のとおり可決しました。

主な内容は、次のとおりです。

▽内容 龍泉洞観覧料の減少分や人件費などの損害賠償額(平成23年度と平成24年度分)  
▽申立額 1億3278万円  
▽和解額 8111万円

■東京電力福島第1原発事故に関する損害賠償金の和解

## 第6回 議員と語る会

議会活動の報告と町民の皆さんとの意見交換会を開催します。

時間は各会場とも、

午後7時～午後8時30分までの予定です。  
多数参加してください。

月日	地区名	会場
11月15日(日)	有芸	有芸地区生活改善センター
11月16日(月)	岩泉	下岩泉公民館
11月17日(火)	小川	三田貝公民館
11月18日(水)	大川	大広公民館
11月19日(木)	安家	年々公民館
11月20日(金)	小本	中里公民館

# 傍聴しやすい 議事堂になりました

放送設備の改修により傍聴しやすい  
議事堂になりました。

これまでは2人で1本のマイクを使用して  
いましたが、1人に1本マイクを配置すると  
ともに、モニターを設置しました。

■ 一般質問の残時間や  
発言者の表情をモニ  
ターで確認できます。  
■ 聴こえに不安がある  
人のために、傍聴席  
に難聴者優先席を設  
けました。ヘッドホ  
ンの音量を調節しな  
がら傍聴できます。  
■ 役場本庁舎2階の町  
民室のモニターで本

こころが  
変わりました

会議の中継映像を見  
ることが出来ます。



モニター（右上）が設置された議事堂

**出かけませんが。  
議会の傍聴へ！**

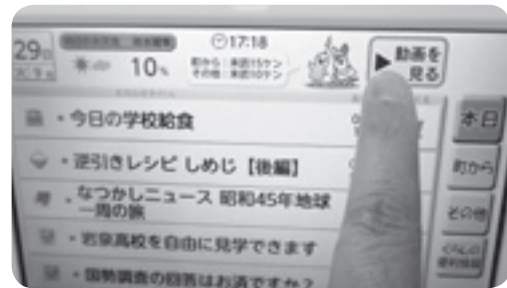
次の定例会は12月上旬の予定です。  
詳しくは、議会事務局へおたずねください。  
☎ 22-2111（内線252） ぴー☎ 00-0252

# ぴーちゃんねつで 議会を見よう

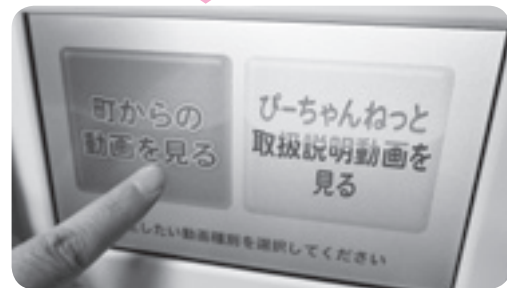
平成27年9月定例会から、一般質問の  
録画映像をぴーちゃんねつで配信しています。

操作方法をお知らせしますので、  
ぜひご覧ください。配信期間は、  
およそ1年間です。

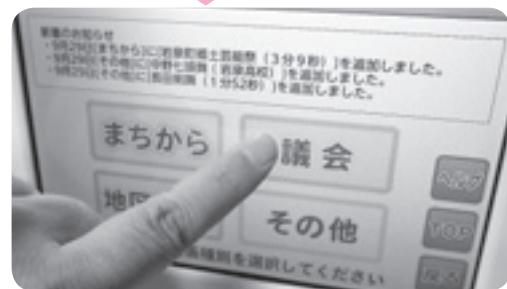
なお、再質問は、配信していません。



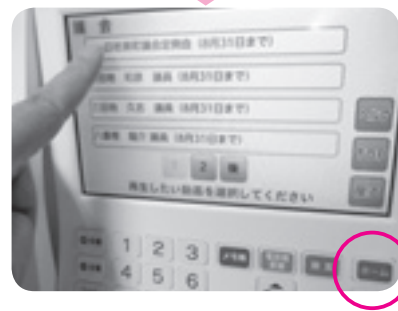
**1** トップ画面の  
「動画を見る」  
ボタンをタッチします。



**2** 「町からの動画  
を見る」を選び  
ます。



**3** 「議会」を選び  
ます。



**4** 見たい動画のタ  
イトルをタッチ  
します。  
見終わった後は、  
ホームボタンを押して  
ください。



### 橋の架かる風景

岩泉線が廃線になる前、岩泉駅を出発して間もなく列車が通っていた最初の橋です。国道455号線を町内から盛岡方面へ進み「見返橋」の百数十メートル左側にある川の上に架かる橋です。

### いわいすみ再発見

一年を通して四季折々ディーゼルカーと共に絵になっていました。

今は「橋のある風景」でしかありませんが、時々見てやってください。列車が走っていたころの風景が蘇ってきます。

八重樫 定津彰(岩泉 54歳)

町内の写真愛好家が撮影した  
本町の風景を紹介するコーナーです。

### 私・の・好・き・な・ア・ン・グ・ル・㊦

**表紙の写真**  
一ツ苗代の上館国男さん一家です。  
水稻を中心に野菜などを生産しています。孫たちを中心にとっても和やかな家族です。

### 編集後記

9月定例会の会期中は、茨城県・鬼怒川の堤防決壊や安保法制をめぐる落ち着かない日々となりました。  
定例会では、町の中心部に子育て支援の住宅建築と宅地造成の姿が見えてきました。未来への懸け橋になってほしいと思います。

今回から一般質問の録画映像をぴーちゃんねつとで見ることができるようになりました。皆さんのご意見ご感想をお寄せください。

(広報広聴常任委員 林崎 竟次郎)

### 広報広聴常任委員会

委員長	合 砂 文 司
副委員長	三田地 久 志
委員	八重樫 龍 介
	林 崎 竟 次 郎
	野 館 泰 喜
	坂 本 昇



古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と、森林の再生に取り組む岩手県岩泉町との連携により実現した「森の町内会一問伐に寄与した紙」を使用しています。